

市の鳥 コアジサシ

コラム

1995年に小田原市の鳥に選ばれました。毎年、酒匂川下流の中州に集団で営巣をしています。巣は地上にくぼみを作り、中に小石を敷いただけの簡単なもので、卵やヒナは周りの小石や砂利と同じ様な色をしていて、注意しないと見分けが付きません。

多くは4月下旬頃から渡ってきて卵を生み、ヒナを育て、8月下旬から9月初め頃に南に向かって渡って行きます。今までに、酒匂川のコアジサシがオーストラリアの近くのカロリン諸島まで渡って行っている事実が確認されています。

翼はやや灰色をしています。全身が白っぽく、頭の上から後ろにかけては黒いです。嘴は黄色く先端が黒い色をしています。名前のとおり空中で狙いを定めると、アジを刺すように嘴から一気に水中に飛び込んで餌を捕らえます。

